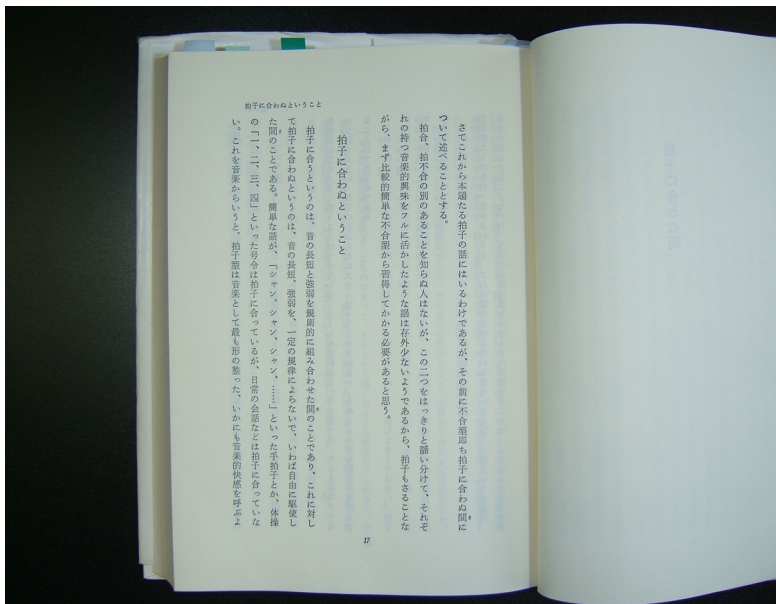
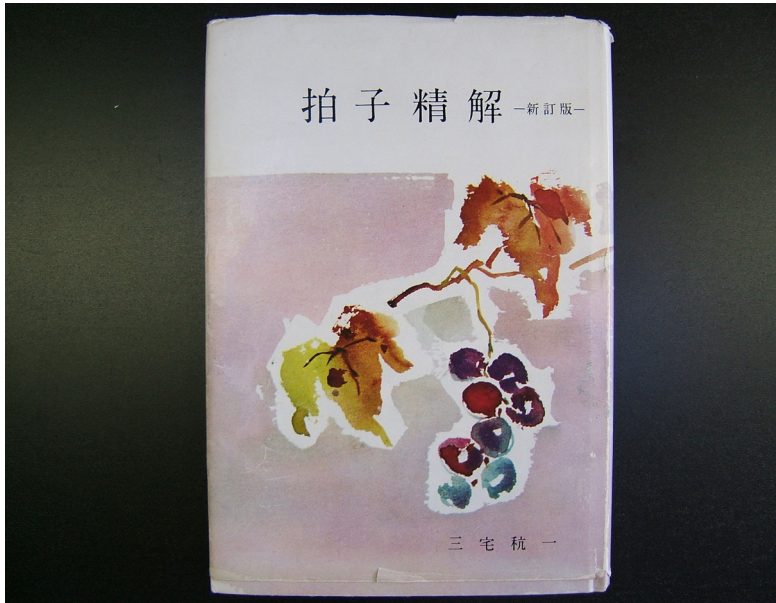


## 三宅粂一 『拍子精解―新訂版―』

初版（107頁）と比較すると、「拍子の概説」部分が、全面的な書き換えにより約二十頁分増えた。拍子不都合の分類が細かく示されたことも増量の原因の一つである。本書はもともと「自習」を目的として編まれていた（初版「はしがき」）、つまり読書を通じて「拍子の運用」のあり方を叩き込むことが意図されていた。しかし、新訂版では、トーンダウンし、師について学ぶ際に「本書に書いたことが土台として役に立てば望外の幸いである」と、控えめになっている。観世流の現実に合わせたのであろう。



標題 内題：―

標題紙：拍子精解

奥附：拍子精解

その他：拍子精解 ―新訂版―（表紙）、

拍子精解 新訂版（背）

著者 奥附：三宅粂一

その他の場所：三宅粂一（標題紙・表紙・

背）

出版 版次：第一版

出版地：東京

出版社：檜書店

出版年：昭和50（1975）

その他の場所：序 昭和42（1967）

形態 冊数：一冊 頁数：二八一頁

寸法：22×16（cm）

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：現物

備考